

平成20年第3回定例会（9月）一般質問（要旨）

（1）学校給食の運営方針について

質問・宮下

今年、学校給食法が大幅改正され、給食の主要目的が「栄養改善」から「食育（食や文化の大切さ、栄養バランスなどを学ぶこと）」に転換した。月形町においては以前から「食育」や「地産地消」に熱心に取り組んでいる印象だが、現在の学校給食の運営方針はどのようなになっているのか。教育長に伺いたい。

回答・教育長

我が町の学校給食運営方針は「安心・安全」「地産地消」である。安心・安全面では食中毒を起こさないよう衛生管理を徹底し、食材も吟味している（問題の起きた餃子などは使用していない）。また、主食の米や野菜はできるだけ月形産を使用している。

再質問・宮下

今年度に入り食材や燃料などあらゆる物が高騰している。今後の学校給食の運営に際し、「安心・安全」「十分な食育」を堅持しようとするればある程度の費用がかかるのは必須。運営方針と給食費のバランスについて、具体的な運営基準はどのようなになっているのか。

再回答・教育長

月形町では食材分を「給食費」として保護者が負担している。現実には物価は高騰しているが、保護者から預かっている大切な給食費はメニューやコストを意識し工夫しながら有効に使っている。しかし、カロリーや栄養が基準を満たせない場合は値上げせざるを得ない。この事については学校給食運営委員会で検討中である。

再々質問・宮下

今の答弁ではカロリーや栄養などの栄養改善面のみに着目した運営のように取れる。食育が主要目的であるならば、メニューの数や質を落とさず、行事食なども取り入れた中で運営していく必要があるのではないか。また、そのために給食費が大幅に値上げされるのであれば、町の施策として給食費の保護者負担割合の見直しは考えられないか。

再々回答・教育長

施策に関しては私の答える範ちゅうにない。給食の目的には「明るい学校生活のため」も含まれる。少ない金額でも工夫して夢のある給食を目指したい。なお倫理的なことからも「食材費＝給食費」という方針は続けていきたい。今のところ概算で1食10～20円の値上げとなるであろう。今後給食費値上げの際は、その理由と給食内容を保護者にキチンと説明していきたい。